

8月23日 年間第 21 主日

永遠の命の言葉

ヨハネによる福音書 6 章 60～69 節

⁶⁰ところで、弟子たちの多くの者はこれを聞いて言った。「実にひどい話だ。だれが、こんな話を聞いていられようか。」⁶¹イエスは、弟子たちがこのことについてつぶやいているのに気づいて言われた。「あなたがたはこのことにつまずくのか。⁶²それでは、人の子がもといた所に上るのを見るならば……。 ⁶³命を与えるのは`霊、である。肉は何の役にも立たない。わたしがあなたがたに話した言葉は霊であり、命である。⁶⁴しかし、あなたがたのうちには信じない者たちもいる。」イエスは最初から、信じない者たちがだれであるか、また、御自分を裏切る者がだれであるかを知っておられたのである。⁶⁵そして、言われた。「こういうわけで、わたしはあなたがたに、『父からお許しがなければ、だれもわたしのもとに来ることはできない』と言ったのだ。」

⁶⁶このために、弟子たちの多くが離れ去り、もはやイエスと共に歩まなくなった。⁶⁷そこで、イエスは十二人に、「あなたがたも離れて行きたいか」と言われた。⁶⁸シモン・ペトロが答えた。「主よ、わたしたちはだれのところへ行きますようか。あなたは永遠の命の言葉を持っておられます。⁶⁹あなたこそ神の聖者であると、わたしたちは信じ、また知っています。」

他の朗読：ヨシュア 24:1, 2, 15～18 詩編 34:2, 3, 16～23 エフェソ 5:21～32

Lectio …読む

私たちは、イエスが「命のパン」であるという重要な教えを引き続き深めます。イエスに従うものの多くがいまや岐路に立たされていました。イエスの教えは受け入れ難い、と気付いたからです。

イエスは多くの人々が去っていったことに驚きはしません。誰がご自分のもとから離れていくか、とうにご存知だったので、とても落ち着いておられます。そして、ヨハネ 6 章 44 節の要点を繰り返すのです。御父だけが、私たちがイエスに結びつけることが出来るのです。

イエスは十二使徒たちにも信じて共にとどまるか、去っていくかの選択を迫ります。彼らは留まりました。ペトロがイエスにした答えは、しばしば繰り返す価値があるものです。彼のふたつの短い文は信仰を凝縮しています。しかし、このような宣言をイエスにするために、ペトロがどのように自分の中の葛藤を克服したのかについては明らかにされていません。

ペトロは何が何でもイエスの弟子でいると決めていたのかもしれませんが。いまや彼の決心を覆すことの出来るものは何もありません。イエスは、私たち自身の力では彼について行くことは出来ない、と明らかにしています。「聖霊」が必要不可欠なのです (63 節)。

イエスの弟子であること、弟子になることは人間の決意以上のものです。それは三位一体のすべてが関係しています。御父が引き寄せ、イエスに従うことを可能にしています。聖霊はイエスを明らかにし、私たちが神のみことばを理解するのを助け、キリスト者の命を生きる力を与えてくれます。御子イエスへの信仰によって、私たちは赦しと永遠の命を受けることができます。私たちは、たとえひとつのペルソナもそれなしに道にとどまることは出来ません。父と子と聖霊のすべてが必要不可欠なのです。

Meditatio …黙想する

あなたが受け入れ、また行うのが難しいのは、イエスの教えのどの部分ですか。

あなたはキリスト者であることをやめてしまいたいという誘惑に駆られたことがありますか。何が

それを止めたのでしょうか。ペトロの答えが今までにあなたの口に上ったことがあるのでしょうか。

あなたに信仰をもたらし、また信仰にとどまらせてくださる三位一体の働きについて考えて見ましょう。あなたはこのことにどのように応えますか。

Oratio …祈る

詩編 34 編に戻って、もう一度私たちがいつも主の祝福を受けていることを思い出しましょう。私たちが落胆したとき、過去における神の誠実さと特別な配慮を思い出すことは (18 節)、私たちがより神の近くへ引き寄せてくれるでしょう。

今週は、祈りの内に、あなたが個別に味わった「神の善良さ」についてリストを作ってみましょう。そしてこのリストを、あなたの信仰生活の中での困難や、不可解さのリストと比べてみましょう。この作業を通して、あなたが神のうちにあることに感謝を捧げ、あなたが今戦っているあらゆることに神の助けを願いましょう。

Contemplatio …観想する

今週は愛と誓いに焦点を当てましょう。ヨシュア記 24 章 1、2、15 ~ 18 節の中で、イスラエルの民は本当の神に仕えるか、それとも他の神々について行くかの選択を迫られます。エジプトの奴隷生活から解放されたことを思い起こし、民は彼らの本当の神に仕えるという誓いを新たにします。

エフェソ 5 章の中で、パウロは神秘を明かします。イエスと教会との関係を夫婦の関係になぞらえます。どちらも、愛と誓いがその土台です。